



公益社団法人

日本語教育学会

2019年度日本語教育学会春季大会

2019年5月25日(土)・5月26日(日)

つくば国際会議場(茨城県つくば市)

後援：つくば市教育委員会

協力：つくば市，一般社団法人つくば観光コンベンション協会

◆開会式 25日(土) 13時 大ホール◆

開催都市挨拶：門脇厚司氏(つくば市教育委員会教育長)

会長挨拶：石井恵理子(公益社団法人日本語教育学会会長)

司会：金孝卿(公益社団法人日本語教育学会大会委員長)

日本語が拓く多様なキャリア形成

公益社団法人日本語教育学会は、現中期事業計画における社会的研究課題の一つ「多様なキャリア形成のための日本語教育内容の体系的再編成」について、各委員会と連携して取り組んできました。2019年度春季大会では「日本語が拓く多様なキャリア形成」を大会テーマに据え、一般公開プログラム、及び、大会発表において連動したプログラムが編成されました。一般公開プログラムでは、『「+日本語」の人生をたずねて一境界を生き、境界をほぐす4人の物語ー』というタイトルで、日本語をふくむ複数の言語を使いながら生き、豊かなキャリアを築いている4名の登壇者の語りを通じて、学会員、一般参加者とともに日本語教育の可能性を広げて考える場を設けました。

大会発表では、外国人材受け入れに関する制度の転換が図られる中、第二言語としての日本語使用者を取り巻く諸課題に関し、「キャリア」をキーワードとした各種発表を募集しました。一般応募と同様の厳正な審査を経た34件の発表が予定されています。

当日は、一般公開プログラム、大会発表で共有される視点、実践・研究事例、問題提起をきっかけに、日本語教育が拓く多様なキャリアについて、複数の観点から考える機会となれば幸いです。

公益社団法人日本語教育学会会長 石井恵理子

目 次

開催のご挨拶	1
開催概要／目次	2
大会日程	3
一般公開プログラム	4
発表一覧：パネルセッション	5
発表一覧：口頭発表	6
発表一覧：ポスター発表	10
同時開催イベント	13
会場配置図	18
会場への交通案内	20

◆大会参加にあたり、手話通訳者・託児等の費用助成を希望する場合は、規程及び要領等をご確認いただきまして、所定の期日までに申請をお願いいたします。その他、なんらかの配慮を要する場合は、4月10日までに下記大会事務局までご相談ください。座席の確保など可能な範囲で対応いたします。また、期日までにご相談がない場合は対応できませんのでご了承ください。

- ◆主催：公益社団法人日本語教育学会
- ◆大会参加費：【事前登録 ※お支払い時に手数料がかかります】
 - 会員 3,500 円
 - 会員（学生証をお持ちの方）2,000 円
 - 会員でない方 5,000 円
 - 【当日受付】一律 5,000 円
- ◆懇親会費：【事前登録（先着 80 名）※お支払い時に手数料がかかります】
 - 一律 3,000 円
- ◆事前登録期間：2019 年 4 月 16 日（火）～ 5 月 15 日（水）
- ◆問合せ先：03-3262-4291/E-mail:taikai-office@nkg.or.jp（前日まで）
090-1999-3315（当日のみ）

◆大会日程◆

5月25日(土)

9:00					
10:00	10:00-12:00 2階：大ホール				
11:00					
12:00	12:10- 3階：小ホール304	13:00-13:50 2階：大ホール	14:00-15:30 1階：大会議室101-102 2階：大ホール 3階：中ホール300	15:45-17:15 1階：大会議室101-102 2階：大ホール 3階：中ホール300	17:30-19:00 レストラン「エスポワール」
	一般公開プログラム (無料)	開会式 授賞式	パネルセッション 第1部	パネルセッション 第2部	懇親会

* 印のイベントの概要は、13～17ページをご覧ください。

5月26日(日)

9:00					
10:00	9:30-12:00 1階：大会議室101,102 2階：中会議室201 3階：中ホール300	12:10-12:50 1階：大101,102 * 委託事業 報告 2階：中201 * 科研申請 セミナー	13:30-16:40 1階：大会議室101,102 2階：中会議室201,202 3階：中ホール300		
11:00	口頭発表 午前の部 (各発表30分)		口頭発表 午後の部 (各発表30分)		
12:00	10:50-12:20 1階：多目的ホール	12:40-14:10 1階：多目的ホール	14:30-16:00 1階：多目的ホール		
13:00	ポスター発表 第1部	ポスター発表 第2部	ポスター発表 第3部		
14:00					
15:00					
16:00					
17:00					
18:00					
	12:00-17:00 3階：ロビー	12:00-17:00 1階：エントランスホール			
	* 賛助会員出展ブース (書籍展示・団体紹介等) (無料)	受付 *わかば・コンシエルジュ (12:00-15:00) * 「日本語教育グローバル人材奨励プログラム」説明ブース (12:00-15:00)			
	12:10-13:20 3階：小会議室304 * Net-J (無料)				
	12:10-13:20 4階：小会議室405 *ふらさだわかば				
	8:45-15:00 3階：ロビー				
	* 賛助会員出展ブース (書籍展示・団体紹介等) (無料)				
	1階：エントランスホール				
	受付 *わかば・コンシエルジュ (8:45-14:00) * 「日本語教育グローバル人材奨励プログラム」説明ブース (9:00-13:00)				

トークセッション

* 無料でご参加いただけます。

「+日本語」の人生をたずねて —境界を生き、境界をほぐす4人の物語—

5月25日(土) 10:00 ~ 12:00 大ホール

就学や就業支援、看護、介護のための日本語教育など、近年、キャリアに結びつく日本語教育の社会的側面が、重視されるようになっていきます。もちろんこれは、きわめて重要な側面です。しかし、日本語教育の可能性は——日本語を+（プラス）して複言語レパートリーを豊かにすることは、看護師・介護士・通訳者といった職業名でまとめることのできない、より個別的なキャリアに結びついていくこともあります。

今回の一般公開プログラムでは、ゲストに、日本語をふくむ複数の言語を使いながら生き、オリジナリティが光る仕事を自ら創りだしていらっしゃる4人の方を迎えます。それぞれの「私の来た道、私の行く道」を聞きましょう。登壇者の人となり、生き方、生きて来た道の一端を教わりましょう。そのことから、一般参加者に何よりも伝えたいのは、隣に複言語話者がいることへの理解と、彼らと共に生きることへの意志です。同時に、日本語教育関係者は、より多様なキャリア形成のための日本語教育はどのようにあり得るのかを考えるための、示唆を得ることができるのではないのでしょうか。

スピーカー：

「ニヶ国語声優の仕事から見た考え方の違い」
劉セイラ氏（青ニプロダクション所属 声優・漫画家）

「『柔道』と『日本語』が拓いてくれた道」
ライトナー・カトリン・ユミコ氏（立教大学 准教授）

「絵からことばが生まれ、ことばから絵が生まれる」
星野ルネ氏（漫画家・タレント）

「わたしの『国』・境界・仕事：若い人たちに伝えたいこと」
トラン・ゴック・フック（新田一福）氏
（株式会社メトラン会長 人工呼吸器開発、
在日ベトナム人協会会長）

司 会：

山田真希子（公益社団法人日本語教育学会調査研究推進委員・金沢大学）
山本冴里（公益社団法人日本語教育学会調査研究推進委員・山口大学）

本プログラムは、一般社団法人尚友倶楽部の助成を受けたものです。

★印は、今大会のテーマ「日本語が拓く多様なキャリア形成」に関連した発表です。

パネルセッション

第1部 [14:00 ~ 15:30 (90分)]

第1会場	第2会場	第3会場
<p>2階 大ホール 司会：古川嘉子 (国際交流基金)</p>	<p>1階 大会議室 101-102 司会：西口光一 (大阪大学)</p>	<p>3階 中ホール 300 司会：深澤のぞみ (金沢大学)</p>
<p>①★ 多文化・多言語化する学校・社会における「ことばの教育」を担う人材の養成—子どもの日本語教育人材に求められる資質・能力に焦点を合わせて—</p> <p>河野俊之 (横浜国立大学) 川口直巳 (愛知教育大学) 浜田麻里 (京都教育大学) 市瀬智紀 (宮城教育大学)</p>	<p>②★ 外国人受け入れ側のコミュニケーション課題—選ばれた国を目指して—</p> <p>岡本能里子 (東京国際大学) 森本郁代 (関西学院大学) 柳田直美 (一橋大学) 村田和代 (龍谷大学)</p>	<p>③★ 外国人介護人材のキャリア形成における現状と課題—よりよい受け入れの在り方とは—</p> <p>西郡仁朗 (首都大学東京) 小原寿美 (広島文教大学) 平井辰也 (EPA 看護師介護福祉士ネットワーク) 小平めぐみ (国際医療福祉大学)</p>

第2部 [15:45 ~ 17:15 (90分)]

第1会場	第2会場
<p>2階 大ホール 司会：荻原稚佳子 (明海大学)</p>	<p>1階 大会議室 101-102 司会：由井紀久子 (京都外国語大学)</p>
<p>⑤★ 企業関係者と日本語教育関係者の協働による外国人エンジニアのための環境整備—企業研修を中心に—</p> <p>近藤彩 (麗澤大学) 戸崎典子 (アルプスビジネスクリエーション) 池田玲子 (鳥取大学) 金子壮太郎 (夢テクノロジー)</p>	<p>⑥★ 大学における日本語ライティング教育の課題と可能性—言語スキル養成からライティング支援人材の育成まで—</p> <p>村岡貴子 (大阪大学) 鎌田美千子 (宇都宮大学) 中島祥子 (鹿児島大学) 石黒圭 (国立国語研究所) 堀一成 (大阪大学)</p>

※プログラム公開時点で予定されていたパネルセッション④は、発表者の都合により中止となりました。

この中止に伴い、パネルセッション⑤、パネルセッション⑥の会場が変更となりました。

口頭発表 午前の部 [9:30 ~ 12:00 (各 30 分)]

★印は、今大会のテーマ「日本語が拓く多様なキャリア形成」に関連した発表です。

	第1会場	第2会場
	1階 大会議室 101 司会：神村初美 (国立国語研究所)	1階 大会議室 102 司会：金愛蘭 (日本大学)
9:30 ~ 10:00	<p>①★ 専門用語と一般語のはざま —医師国家試験の語彙からの一 考察—</p> <p>山元一晃 (国際医療福祉大学) 稲田朋晃 (同) 品川なぎさ (同)</p>	<p>⑤ 外国につながる児童の「時を 表わす語」の習得研究—カレ ンダー読み取り課題を通して—</p> <p>中石ゆうこ (県立広島大学)</p>
10:10 ~ 10:40	<p>②★ 介護分野で来日就労働機を 持つベトナム人看護系学生の キャリア意識</p> <p>小原寿美 (広島文教大学)</p>	<p>⑥★ 課題作文「学校紹介」の学 年別使用語彙の分析—DLA 「書く」評価参照枠精緻化のため に—</p> <p>菅長理恵 (東京外国語大学) 松田真希子 (金沢大学)</p>
10:50 ~ 11:20	<p>③★ 留学生のキャリア支援の実態 と課題—日本語教師と学習者の 「ずれ」に着目して—</p> <p>寅丸真澄 (早稲田大学) 家根橋伸子 (東亜大学) 松本明香 (東京立正短期大学) 佐藤正則 (山野美容芸術短期大学)</p>	<p>⑦ アイデンティティを築く「わた したちのことば」—留学生の日 本語使用における逸脱的实践に 着目して—</p> <p>井濃内歩 (筑波大学大学院生)</p>
11:30 ~ 12:00	<p>④★ インドネシア中等教育日本語 教師にとっての教師会への参 加意義—アンケート調査から見 えてくるもの—</p> <p>杉島夏子 (国際交流基金) 岡本拓 (同)</p>	<p>⑧ ベトナム人日本語学習者によ る漢字語の翻訳における音韻 類似性と使用頻度の影響</p> <p>Hoang Thi Lan Phuong (名古屋大 学大学院生) 玉岡賀津雄 (名古屋大学) 于劭贇 (名古屋大学大学院生)</p>

口頭発表 午前の部 [9:30 ~ 12:00 (各 30 分)]

★印は、今大会のテーマ「日本語が拓く多様なキャリア形成」に関連した発表です。

第3会場

3階 中ホール 300
司会：ポイクマン総子
(東京大学)

9:30 ~ 10:00 ⑨★
キャリアを拓く「5つの質問」
—留学生が日本語で行う自己分析の一考察—

渡辺若菜 (立命館アジア太平洋大学)
加藤みゆき (東京外国語大学)
石村文恵 (立命館アジア太平洋大学)

10:10 ~ 10:40 ⑩★
アクティブラーニング型授業
に対する学習者の授業評価の
変化—同一授業を行った複数ク
ラスの比較分析—

芹川佳子 (ボルドー・モンテーニュ
大学)

10:50 ~ 11:20 ⑪★
学習者の葛藤と成長—日本語
教育の対話型作文授業の中で—

霍沁宇 (一橋大学大学院生)

11:30 ~ 12:00 ⑫★
ケースメソッド教授法を活用
したキャリアデザインの授業
設計

鈴木秀明 (目白大学)

第4会場

2階 中会議室 201
司会：川村よし子
(東京国際大学)

⑬
日本語教室コミュニティにお
いて日本語ボランティアが経
験する葛藤とその背景

村田竜樹 (名古屋大学大学院生)

⑭
海外における日本語ボラン
ティアの活動動機・意義・経
験の活かし方—ベトナム・ハノ
イを一例にして—

小西達也 (名古屋大学)

⑮
ベトナムにおける日本語教育
の商品化—学校経営者及びプロ
グラム主任へのインタビュー調
査から—

瀬尾匡輝 (茨城大学)

⑯
日本語の発音に対するベトナ
ムの学習者と教師の認識の相
違

サイティマイ (ホーチミン市師
範大学)

口頭発表 午後の部 [13:30 ~ 16:40 (各 30 分)]

★印は、今大会のテーマ「日本語が拓く多様なキャリア形成」に関連した発表です。

第 1 会場

1 階 大会議室 101

司会：
福田倫子（文教大学）
鈴木智美（東京外国語大学）

13:30 ~ 14:00 ⑰
日本語読解においてワーキングメモリ容量が習熟度を補償する現象—漢字圏日本語学習者の事例—

吉川達（佐賀大学）

14:10 ~ 14:40 ⑱
韓国語を母語とする中級日本語学習者はどのように文章を読んでいるか—ケーススタディ—から習熟度別の特徴を探る—

山方純子（早稲田大学）
李榮（神田外語大学）

14:50 ~ 15:20 ⑲
説明文の書き換えが日本語学習者の内容理解に与える影響—読解の処理レベルにおける簡素化・精緻化の効果と学習者の母語背景による影響—

和氣圭子（上智大学）

15:30 ~ 16:00 ⑳★
意見文作文の流暢さ・複雑さ・正確さに語彙力がどのように関わるか

堀場裕紀江（神田外語大学）
李榮（同）

16:10 ~ 16:40 ㉑
日本国外 (JFL) の日本語教室でのトランス・ランゲージング—創造的な談話のケーススタディ—

花岡ベラ（ハワイ大学大学院生）

第 2 会場

1 階 大会議室 102

司会：
李在鎬（早稲田大学）
住田哲郎（京都精華大学）

㉒
質問作りの実践が質問文作成に与える影響

堀恵子（東洋大学）

㉓
宿題に意味はあるか—日本語ゼロ初級クラスの行動・成績データ分析より—

古田梨乃（国際教養大学）
三和秀平（関西外国語大学）
樋渡康敬（国際教養大学）
橋本洋輔（同）

㉔
同一の判定基準を用いて異なる言語行動を判定することが可能か—ブレースメントのための日本語スピーキングテスト STAR の判定基準の検証—

ボイクマン総子（東京大学）
根本愛子（同）
松下達彦（同）

㉕
中国語を母語とする日本語学習者による擬音・擬態のオノマトペの軽動詞付加と副詞としての使用の習得

馮亜静（名古屋大学大学院生）
玉岡賀津雄（名古屋大学）
楊艶萍（中南林業科技大学）

㉖★
自他動詞教育の実践とその効果—授業、事前・事後テスト、遅延テストを通して—

江田すみれ（聖心女子大学）
相澤早帆（日本女子大学大学院生）
白鳥藍（同）

口頭発表 午後の部 [13:30 ~ 16:40 (各 30 分)]

★印は、今大会のテーマ「日本語が拓く多様なキャリア形成」に関連した発表です。

	第3会場	第4会場	第5会場
	3階 中ホール 300 司会： 真嶋潤子（大阪大学） 河野俊之（横浜国立大学）	2階 中会議室 201 司会： 野田尚史（国立国語研究所） 木下直子（早稲田大学）	2階 中会議室 202 司会： 三宅和子（東洋大学） 水野晴美（国際日本語普及協会）
13:30 ~ 14:00	<p>②7★ 就労支援の日本語教育における阻害要因—日本語教師のやりにくさとピリーフはどう関係するか— 渡部裕子（長崎総合科学大学） 手島利恵（日本国際協力センター） 大石寧子（同）</p>	<p>③2 中国語母語話者における単漢字表記和語動詞の理解について—言語間類似性の観点から— 孟盈（首都大学東京大学院生）</p>	<p>③7 能動的な発話を促す聞き手のストラテジー—自然会話にみるレジリエンス作用— 大塚明子（専修大学）</p>
14:10 ~ 14:40	<p>②8★ 日本語教師に求められるコミュニケーション能力の再定義—日本語教師の固有性に着目した本質観取を通して— 深江新太郎（NPO 多文化共生プロジェクト）</p>	<p>③3 副詞類義語分類への一考察 本廣田鶴子（大阪大学研究生）</p>	<p>③8 日本語学習者の教室外学習とモチベーションの変化に関する一考察—ダイナミック・システムズ理論の観点から— 稲葉美穂（カーディフ大学）</p>
14:50 ~ 15:20	<p>②9★ 日本語教師の成長を支援する校内研修の方法に関する一考察—授業観察制度に関わる指導者へのインタビュー調査から— 野瀬由季子（大阪大学大学院生）</p>	<p>③4 「日本語だから言えた」—第二言語としての日本語使用と自由の感覚— 山本冴里（山口大学） 萩原秀樹（インターカルト日本語学校）</p>	<p>③9 中国語を母語とする日本語学習者のナラティブにおける評価構造の使用実態—評価構造の使用頻度と言語形式を中心に— 陳真（広島大学大学院生）</p>
15:30 ~ 16:00	<p>③0★ 移民的背景を持つ学習者に対応できる日本語教師の研修 足立祐子（新潟大学） 松岡洋子（岩手大学）</p>	<p>③5 単語アクセントの習得は自然な韻律の習得にどう寄与するか—アクセント型の組み合わせとディフレージング生起の関係— 布村猛（東京外国語大学大学院生）</p>	<p>④0 留学生の西日本豪雨への対応から考える学校としての防災対策 土屋理恵（日本ウェルネススポーツ専門学校広島校）</p>
16:10 ~ 16:40	<p>③1★ 日本語学校中堅日本語教師研修の開発・実践—日本語学校の質向上とキャリア形成のために— 平岡憲人（清風情報工科学院）、江副隆秀（新宿日本語学校）、小島美智子（長沼スクール東京日本語学校）、柳澤好昭（同）、森恭子（新宿日本語学校）、福田佳与（メロス言語学院）、影嶋知香子（横浜デザイン学院）、平岡佳梨加（Creative Education）</p>	<p>③6 LTD 話し合い学習法の授業実践による協同作業認識への効果 東寺祐亮（日本文理大学）</p>	<p>④1 クルド人コミュニティにおける「わかりあえる日本語」に関する一考察—支援者インタビュー調査から— 片山奈緒美（筑波大学大学院生）</p>

ポスター発表 第1部 [10:50 ~ 12:20 (90分)]

★印は、今大会のテーマ「日本語が拓く多様なキャリア形成」に関連した発表です。

会場

1階 多目的ホール

①

日越コミュニケーションの研究
—看護師と患者の談話（採血場面）—

vu dinh sam (ケーワンテック)
西川寛之 (明海大学)
柳澤好昭 (長沼スクール東京日本語学校)

②★

外国人労働者の日本語能力に関する意識—茨城県の製造業従事者を事例として—

井上里鶴 (つくばにほんごサポート)
小野塚若菜 (ベネッセ教育総合研究所)
吉陽 (筑波大学大学院生)

③★

多文化共生サポートアプリ「SuMo Japan」の開発

伊藤秀明 (筑波大学)

④

「やさしい日本語」と初級文法の接点—日本人学生が選んだ「やさしい」形式—

中俣尚己 (京都教育大学)

⑤

自律学習を促す学習ポートフォリオの使用の可能性—地域日本語教室の実践を例に—

杜長俊 (学習院大学)
地引愛 (同)

⑥

地域語によるコミュニケーションを支援する聞き取り学習システムの開発

馬場良二 (熊本県立大学), 和田礼子 (鹿児島大学), 大庭理恵子 (熊本大学), 田川恭識 (清泉女子大学), 吉里さち子 (熊本大学), 嵐洋子 (杏林大学), 國澤里美 (群馬県立女子大学), 石山友之 (東京福祉大学)

⑦

ベトナム人技能実習生に対する漢字指導の新たな試み—学習者の負担を減らした指導法の実践—

田中真由美 (日本福祉大学)

⑧★

ベトナム人「日本語使い」の母国でのキャリア構築に関する—考察—30代～50代女性の質的事例研究—

坪田珠里 (京都外国語大学大学院生)

⑨

台湾の大学の日本語会話クラスにおける日本語会話への動機づけとビリーフの関連

三和秀平 (関西外国語大学)
古田梨乃 (国際教養大学)

⑩

日本語母語話者と日本語非母語話者による「キャラクタ」形成過程の解明と比較—SCATを用いた質的研究—

荒井美咲 (東北大学大学院生)

⑪

日系ペルー人留学生マリにとっての継承日本語学習の意味—マリへのライフストーリーインタビューをもとに—

佐々木ちひろ (名古屋大学大学院生)

⑫★

地域と連携した課題遂行型活動を通じた社会人基礎力の育成—フリーペーパー作成プロジェクトから日本語学習者のキャリア支援を考える—

柳澤絵美 (明治大学)

⑬

自己物語の作品を媒介とした対話の場の連鎖と広がり

矢部まゆみ (横浜国立大学)
池田恵子 (教育活動総合サポートセンター)

⑭★

地域日本語教育における既存ボランティア団体の持続可能な活動に向けて—多様な活動のためのサポートメンバー制の導入—

山田野絵 (日本語ボランティアグループ・オルビス)
上村洋美 (同)

⑮

介護技能実習生を担当する日本語教師のためのパターン・ランゲージ—ミャンマー人介護技能実習生の事例をもとに—

森良太 (北海学園大学)
井上みのり (同)
竜野征一郎 (同)

ポスター発表 第2部 [12:40 ~ 14:10 (90分)]

★印は、今大会のテーマ「日本語が拓く多様なキャリア形成」に関連した発表です。

会場

1階 多目的ホール

⑩⑥

ネイティブ日本語教師はノン
ネイティブ日本語教師による
「いい教師」像の語りにどのよ
うに現れたか—タイ、中国、韓
国人日本語教師への調査から—

八田直美 (国際交流基金)
坪根由香里 (大阪観光大学)
小澤伊久美 (国際基督教大学)
嶽肩志江 (横浜国立大学)

⑩⑦

対話場面における中国人日本
語学習者の「と思う」の習得
過程—「と思う」につく終助詞
と接続助詞の変化に着目して—

布施悠子 (国立国語研究所)

⑩⑧★

外国人学生を就活成功に導
く工夫—テンブル大学ジャパン
キャンパスの実践—

山口麻子 (テンブル大学ジャパン
キャンパス)
高橋桂子 (同)

⑩⑨

多読が作文に与える影響につ
いての一考察—多読素材と看
図作文に焦点をあてて—

横山りえこ (名古屋経済大学)

⑩⑩

日本留学で伸びる言語能力と
伸びない言語能力—中国語母
語話者のロールプレイ・データ
に基づいて—

細井陽子 (国立国語研究所)
迫田久美子 (広島大学)

⑩⑪★

学習者の自律学習に繋がる
音声指導—ノンネイティブ日本
語教師の指導例について—

小川都 (国立国語研究所)

⑩⑫

日本生育外国人児童の1年
時の作文力—出来事作文の内
容と構成の分析から—

三好大 (東京学芸大学大学院生)
齋藤ひろみ (東京学芸大学)
菅原雅枝 (同)

⑩⑬★

インドネシア人中等教育日本
語教師のビリーフの変容—日
本人ボランティアとの協働を通
して—

二瓶知子 (明治大学)
古内綾子 (桜美林大学)

⑩⑭

ラオス中等教育学校における
日本語学習者の言語学習ビ
リーフ

吉川景子 (国際交流基金)

⑩⑮

中等教育段階の日本語教育
研究は何を論じてきたか—『日
本語教育』および『国際交流基
金日本語教育紀要』に見る研究
の動向と変遷—

大船ちさと (国際交流基金)

⑩⑯

JSL環境で学ぶブータン人学
習者のビリーフと学習ストラ
テジーに関する質問紙調査
—BALLIとSILLを用いて—

加藤伸彦 (立命館大学)
前野文康 (KIJ語学院南校)

⑩⑰

拡張現実を取り入れた自助力
育成のための防災学習活動
改善の試み

米本和弘 (東京医科歯科大学)

⑩⑱★

ケース学習を用いた職場外で
の学びの場の意義—外国人社
員参加者及び人事担当者へのイ
ンタビューから—

金孝卿 (早稲田大学)

⑩⑲★

やさしい日本語を用いた介護
専門語彙学習教材の開発

布尾勝一郎 (佐賀大学)
中川健司 (横浜国立大学)
野村愛 (首都大学東京)
奥村匡子 (同)

⑩⑳★

ベトナム語を母語とする日本
語学習者による講義の配布資
料への書き込みの分析—書き
込む過程に見られる学習者の理
解を中心に—

田中啓行 (中央学院大学)

ポスター発表 第3部 [14:30 ~ 16:00 (90分)]

★印は、今大会のテーマ「日本語が拓く多様なキャリア形成」に関連した発表です。

会場

1階 多目的ホール

③①

語彙・表現習得支援のための
コンテンツ開発に向けて
—留学生の日常トピックからの
コロケーションの抽出と分類—

李文鑫 (筑波大学大学院生)
近藤弘 (同)
Alexander Tokarev (ケルン大学大学院生)
伊藤秀明 (筑波大学), 小野正樹 (同)

③⑥

上級日本語学習者の非制限
的名詞修飾の使用実態—作文
のジャンルによる違いに注目し
て—

徐乃馨 (首都大学東京大学院生)

④⑩

チーム基盤型学習 (TBL) に
よる日本語能力試験対策授業
の実践—日本語能力試験 N3 文
法を中心に—

藤田裕一郎 (朝日大学)

③②

読解基本語彙チェッカーの開
発

本田ゆかり (東京外国語大学)
川村よし子 (東京国際大学)

③⑦★

東京国際大学 Japanese Plaza
における会話パートナー (CP)
の実践

稲垣みどり (東京国際大学)
鹿目葉子 (同), 大橋真由美 (同)
横田賢司 (同), 助川泰彦 (同)

④①

CLIL 初中級クラスにおける
コースデザインの試み—言語・
認知的負担への考慮—

奥野由紀子 (首都大学東京)
呉佳穎 (同)

③③

アカデミックライティングにお
けるインターネット使用—ア
ジア圏留学生を対象としたアン
ケート調査から—

副田恵理子 (藤女子大学)
日野純子 (帝京大学)
船橋瑞貴 (群馬大学)

③⑧

デジタル・ストーリーテリング
(DST) がつなぐ大学と地域
の中学校—これまでの実践を通
じて見えてきたこと—

半沢千絵美 (横浜国立大学),
樋口万喜子 (同),
寺尾綾 (同), 長嶺倫子 (同),
西山陽子 (同), 矢部まゆみ (同)

④②

「いいレポートの内容とはなに
か」という問いを通じた参加
型評価の取り組み—学習とし
ての評価を考える—

佐野香織 (早稲田大学)

③④★

インドネシアにおける日本語
教師対象オンライン会話会の
実践報告

岡本拓 (国際交流基金)
杉島夏子 (同)

③⑨

学習者は母語話者評価の何
に気づけたか—誤解の釈明場
面を用いた分析活動を通して—

濱田典子 (秋田大学)

④③

戦後南洋群島における日本語
残存要因の考察—環境要因に
着目して—

會田篤敬 (岩手大学)

③⑤

医療福祉系国家試験の漢字
はどの程度共通しているか

稲田朋晃 (国際医療福祉大学)
山元一晃 (同)
品川なぎさ (同)
佐藤尚子 (千葉大学)

賛助会員出展ブース

[5月25日(土) 12:00～17:00, 26日(日) 8:45～15:00]

会場：3階 ロビー

出展：公益社団法人日本語教育学会 賛助会員団体

本会には賛助会員という会員種別があり、全国の出版社、書店、日本語学校、企業、NPO団体等、43団体が入会しています。(2019年3月現在)

賛助会員の皆様からは、日本語教育全体の発展と本会の運営の促進のために多大なご協力をいただいています。

「賛助会員出展ブース」では、各団体の紹介や、最新情報の発信、書籍・教材のラインアップ展示等を行います。最新の書籍等を手にとって見られる絶好の機会かと思えます。

また、賛助会員と大会参加者との交流、参加者間のネットワーク作りの促進、日本語教育及び関連領域の情報提供、情報交流、広報等の場としてもお役立てください。

ブースは土日を通して設置していますので、会期中は何度でも、どうぞお気軽に足をお運びください。

日本語教育グローバル人材奨励プログラム紹介ブース

[5月25日(土) 12:00～15:00, 26日(日) 9:00～13:00]

会場：1階 エントランス

主催：公益社団法人日本語教育学会 国際連携委員会

国内で日本語教育の実践や研究に取り組む若手の皆さん、実際に海外の現場に行って、日本語教育の関係者と交流したり、研究成果を共有したりしてみませんか。本ブースでは、海外で活動したい若手実践者・研究者のための費用助成プログラムを紹介します。これからの日本語教師は、世界各国で行われている日本語教育のあり方に関心を持ち、グローバルな視点からさまざまな課題の解決を目指す姿勢が求められます。このプログラムは、そういった広い視野をもって世界各国の日本語教育関係者と協働できる人材育成を目的とする新しい企画です。これまで日本以外の日本語教育に触れる機会が少なかった若い実践者・研究者を対象とし、海外の教育機関や研究会・学会で活動するための費用を助成します。ブースでは、助成対象とする活動内容、資格や条件等、募集の概要についての説明を行い、質問や疑問にお答えします。ぜひお立ち寄りください。

同時開催イベント

わかば・コンシェルジュ

[5月25日(土) 12:00～15:00, 26日(日) 8:45～14:00]

会場：1階 エントランス

主催：公益社団法人日本語教育学会 チャレンジ支援委員会

大会に参加してみて、わからないことや聞いてみたいことがありましたら、「わかば・コンシェルジュ」にお越しください。「どこでどんな発表をしていますか」「〇〇に興味があるんですが、どの発表を聞きに行ったらいいでしょうか。おすすめのコースを教えてください」など、大会プログラムに関する素朴な疑問や質問にお答えいたします。「わかばさんいらっしゃい」と連動しており、「わかばさんいらっしゃい」のチェックリストをコンプリートされた方に記念品を進呈いたします。大会へのご参加の記念にパネルを使った記念撮影のお手伝いもいたします。

また、他分野がご専門でこれから初めて日本語教育に関わるという方からのご質問やご相談にも可能な限り対応いたします。

2日目(5月26日)は、「ぷらさ da わかば」の申し込み受付も行います。黄色いはっぴを着たスタッフがお待ちしておりますので、お気軽にお立ち寄りください。

わかばさんいらっしゃい

[5月25日(土) 12:10～12:55]

会場：3階 小会議室 304

主催：公益社団法人日本語教育学会 チャレンジ支援委員会

「わかばさん」とは、日本語教育を学ぶ学生・大学院生、日本語教育活動に関わり始めたばかりの方、教育経験は長くても研究活動を始めたばかりの方など、日本語教育学会ビギナーの方たちのことです。

わかばさんが研究大会に参加するときは、「どんな人が参加してるんだろう?」「一人で大丈夫かな?」「どこへ行ったらいいんだろう?」など、少し不安だったり、ちょっと勇気が必要だったり…。学会のセンパイたちもみんなそんな経験をしてきました。そんなわかばさんたちのために、「わかばさんいらっしゃい」では、大会のしくみや聞きに行く発表の選び方、その他いろいろ、研究大会の楽しみ方をわかりやすくご説明します。もちろん、「こんな基本的なこと、今さら聞いてもいいかな…」という隠れわかばさんも大歓迎ですよ。

「わかばさんいらっしゃい」は食べ物・飲み物持参OK! ランチを取りながらネットワークも作りましょう。きっともっと大会が楽しくなるはずですよ。

ぶらさ da わかば

[5月26日(日) 12:10 ~ 13:20]

会場：4階 小会議室 405

主催：公益社団法人日本語教育学会 チャレンジ支援委員会

この学会に集うだれもが「わかば」マークをつけて日本語教育の実践や研究に関わり始めました。日本語教育の世界で自分の先を歩いている「センパイ」と交流する機会を持てれば、ちょっとしたヒントをもらったり、悩みや疑問について相談したりできるかもしれません。とは言え、自分からセンパイに話しかけたり、さらには、一対一で対話をする機会を持ったりすることは、なかなかむずかしいことではないでしょうか。

そんな「わかば」な人のための企画が、「ぶらさ da わかば」です。皆さんの少し先を歩いているセンパイと、一対一で気楽に話してみませんか。研究や実践の話をしたり、キャリアの相談をしたり、センパイの経験談を聞いたり、自由な空間です。当日の午前9時から大会受付に併設する「わかば・コンシェルジュ」で申込を受け付けます。先着順ではなく、9時に大会受付に集まった方で抽選を行い、優先順位順に話したいセンパイを選んでもらいます。9時でセンパイ全員が埋まらない場合には引き続き申込みを受け付けます。参加するセンパイのプロフィールなど、詳細は学会ウェブサイトをご覧ください。

日本語教育研究・実践ネットワーク(Net-J) 研究会紹介ブース

* 無料でご参加いただけます。

[5月26日(日) 12:10 ~ 13:20]

会場：3階 小会議室 304

主催：公益社団法人日本語教育学会 学会連携委員会 Net-J 部会

日本語教育研究・実践ネットワーク(Net-J)は、アカデミック・ジャパニーズグループ研究会、多文化共生社会における日本語教育研究会、日本語音声コミュニケーション学会、JSL漢字学習研究会、ビジネス日本語研究会、看護と介護の日本語教育研究会、日本語教育学会(事務局)の7団体で組織されたネットワークです。本ブースでは、これらの研究会が、各分野の最新情報や、各研究会の取り組みについてご紹介します。また、当該分野の研究・実践に興味のある方の、個別の相談に乗ることも可能です。ぜひ、関連分野の研究・実践に取り組んでいる方、また関連分野の興味のある方のご来場をお待ちしています。

また、Net-Jでは、新たな加盟団体を随時募集しています。興味のある団体は、日本語教育学会事務局までご相談ください。

科研申請アドバイスセミナー 「日本語教育学における科研の今とこれから」

[5月26日(日) 12:10～12:50]

会場：2階 中会議室 201

主催：公益社団法人日本語教育学会 調査研究推進委員会

科学研究費助成事業として研究分野「日本語教育」で採択される研究を増やすことを目的とした企画です。「日本語教育学における科研の今とこれから」というテーマで、科研費採択経験者や審査委員経験者等から具体例を交えた情報を提供します。

科研費に採択されるためには、テーマの新規性や方法論の妥当性、申請書作成過程におけるルール遵守がきわめて重要です。この企画では、科研費申請のための注意事項、採択されるためのコツを解説し、参加者の理解を深めることを目指したいと思います。

また、最近の日本語教育学の領域やテーマ、および、採択実績のある具体的なテーマを紹介し、これをもとに、参加者に研究テーマのブレインストーミングができる機会を提供します。

以上の説明の後、参加者からの質問を受け付ける時間を設け、参加者間での疑問点とそれへの解決例を共有します。

文部科学省委託「外国人児童生徒等教育を担う教員の養成・ 研修モデルプログラム開発事業」2018年度事業報告

[5月26日(日) 12:10～12:50]

会場：1階 大会議室 101

主催：公益社団法人日本語教育学会 文部科学省委託事業特別委員会

本事業では、2017年度より3か年計画で、国内の外国人の子どもたちの教育・支援に携わる人材の養成・研修のためのモデルプログラムを開発しています。大学における教員養成・日本語教師養成、自治体等での現職教員の研修、地域の支援団体等における支援員の養成・研修での利用を想定したプログラムです。2018年度は、モデルプログラム(2017年度版)の検証、外国人児童生徒等教育・支援を担う人材に求められる資質・能力のモデル化、授業・研修の事例収集(事例集の発行)、そして情報提供のためのwebサイトの構築を行いました。この報告では、モデルプログラムの検証事例とその結果、webサイトの構成とその利用方法を中心に紹介します。また、最終年度の2019年は、開発したモデルプログラムの普及のために、全国各地で研修講師養成の研修会やモデルプログラムに関するセミナー等を開催する予定です。その実施計画と参加申し込みの方法等について紹介します。学校教員・日本語教師の養成・研修に携わる方、是非ご参加ください。

BJTビジネス日本語能力テスト Can-do statements 調査研究 事業受託報告会

〔5月26日（日）12:10～12:50〕

会場：1階 大会議室 102

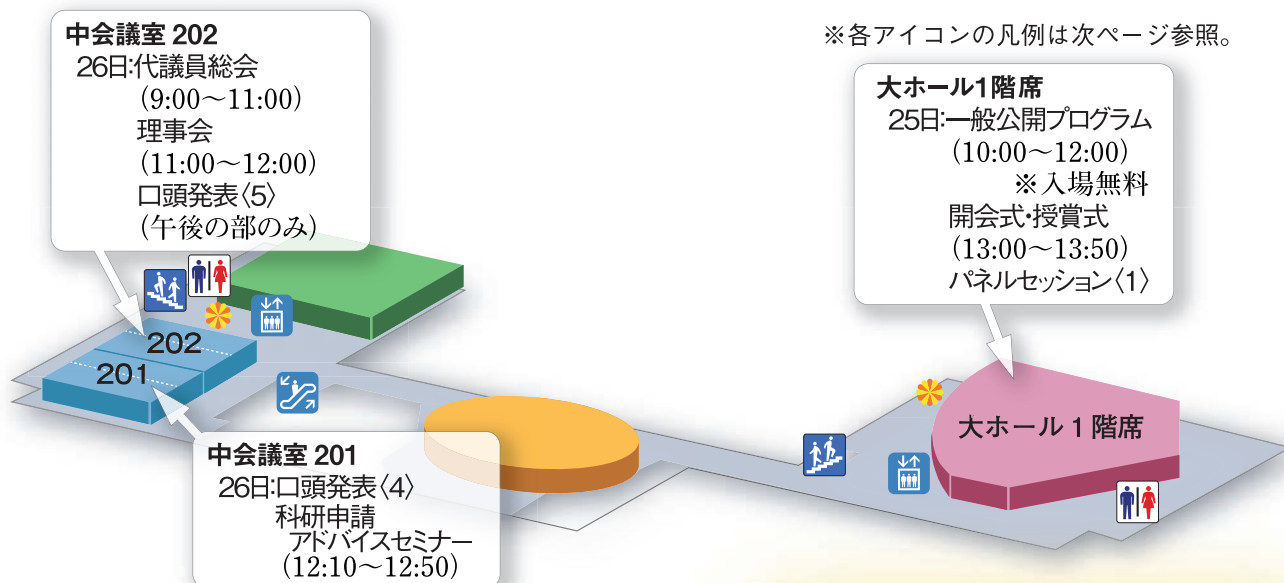
主催：公益社団法人日本語教育学会 BJTビジネス日本語能力テスト特別委員会

本会は、2017～18年度に、公益財団法人日本漢字能力検定協会から委託を受け、BJTビジネス日本語能力テストに関するCan-Do Statementsについて調査研究を行いました。優秀な外国人人材が求められている昨今、日本のビジネス現場で必要となる日本語能力についての指標が強く求められています。本調査研究では、外国人人材がビジネス現場で具体的に何ができるのかをBJTのレベルと結びつけて具体的に示すことを目的に調査を行い、具体的な行動とBJTレベルの関係が明らかになりました。

当該調査研究について、2018年9月に報告書を取りまとめ、学会および漢検協会ホームページで公開しました。また、調査結果について、2019年1月に東京で、2月に京都でそれぞれ成果報告会を開催いたしました。今般、春季大会の場を活用して、当該調査研究について、改めて会員および大会に参加する日本語教育関係者に説明する機会を設けます。

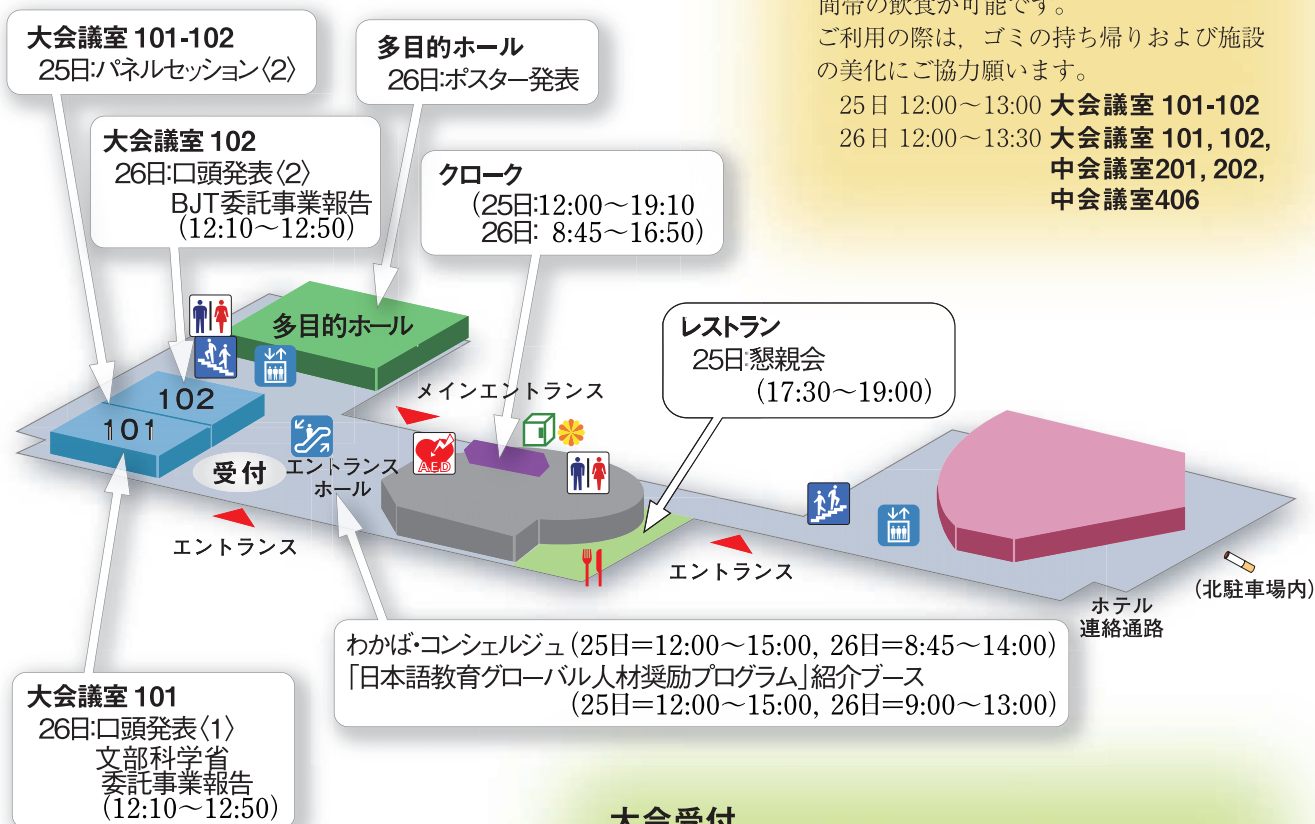
会場案内

会場配置図 — つくば国際会議場



※各アイコンの凡例は次ページ参照。

2階



◎施設内には、以下の飲食店がございます。
レストランエスポワール (1F 席数:110席)
営業時間 11:00~14:00

◎お弁当等をご持参の方は、以下の会場・時間帯の飲食が可能です。
ご利用の際は、ゴミの持ち帰りおよび施設の美化にご協力願います。

25日 12:00~13:00 **大会議室 101-102**
26日 12:00~13:30 **大会議室 101, 102,**
中会議室201, 202,
中会議室406

1階

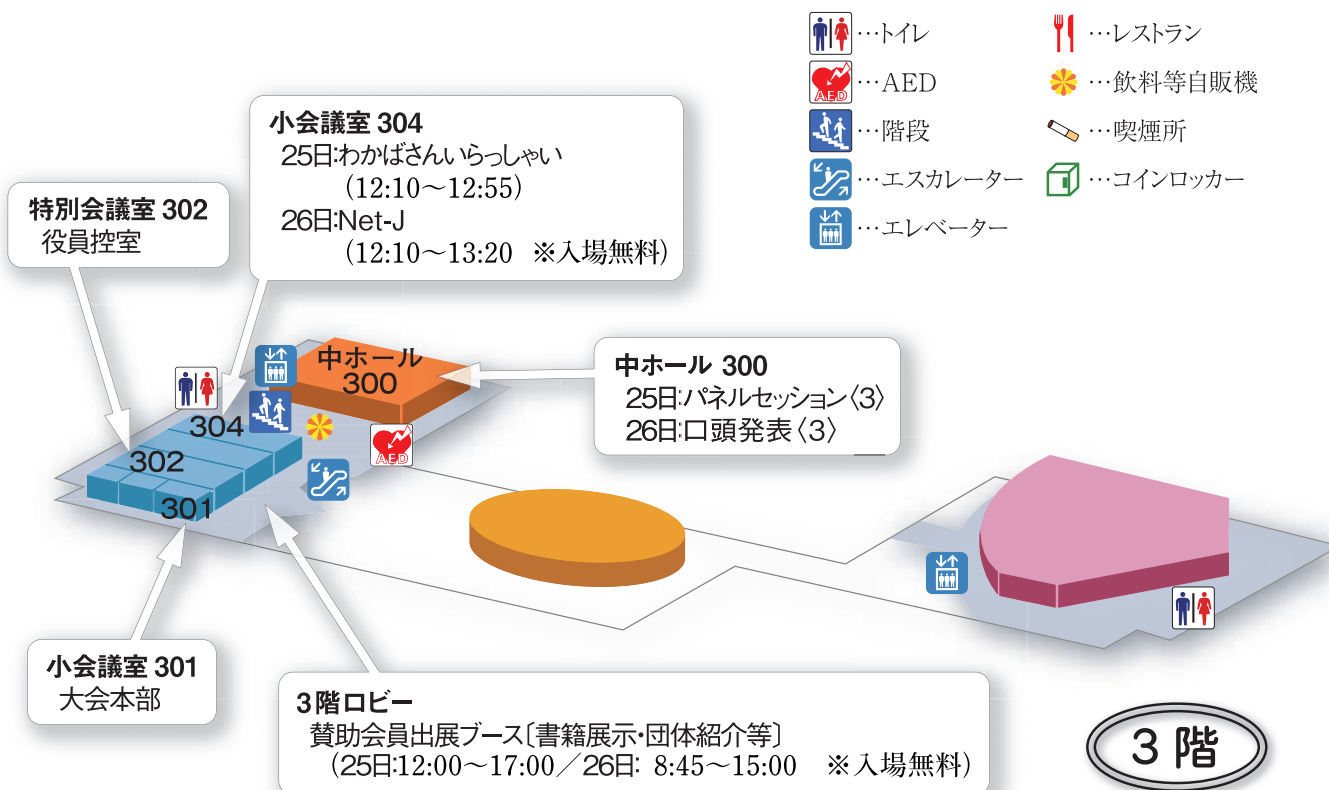
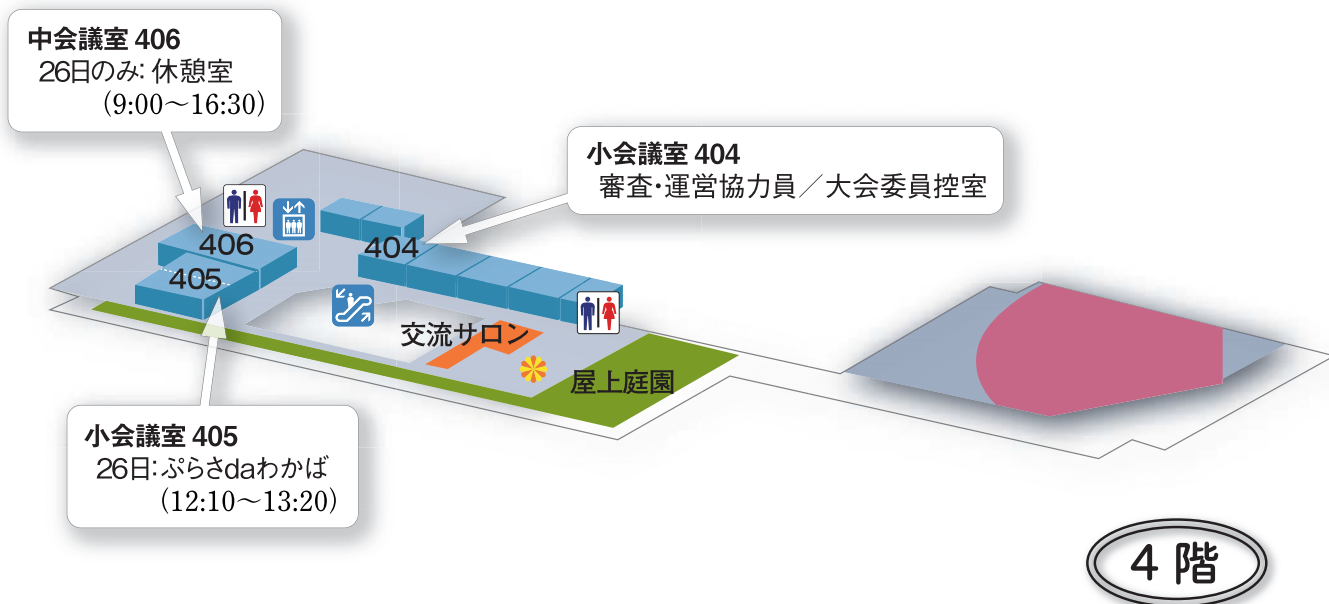
大会受付

25日=12:00~17:00

26日= 8:45~15:00

※申込・受付方法等の詳細は4月15日以降に学会ホームページで順次公開します。

※1日目に受付をされた方は、2日目は受付不要です。
2日目も名札は必ず着用してください。



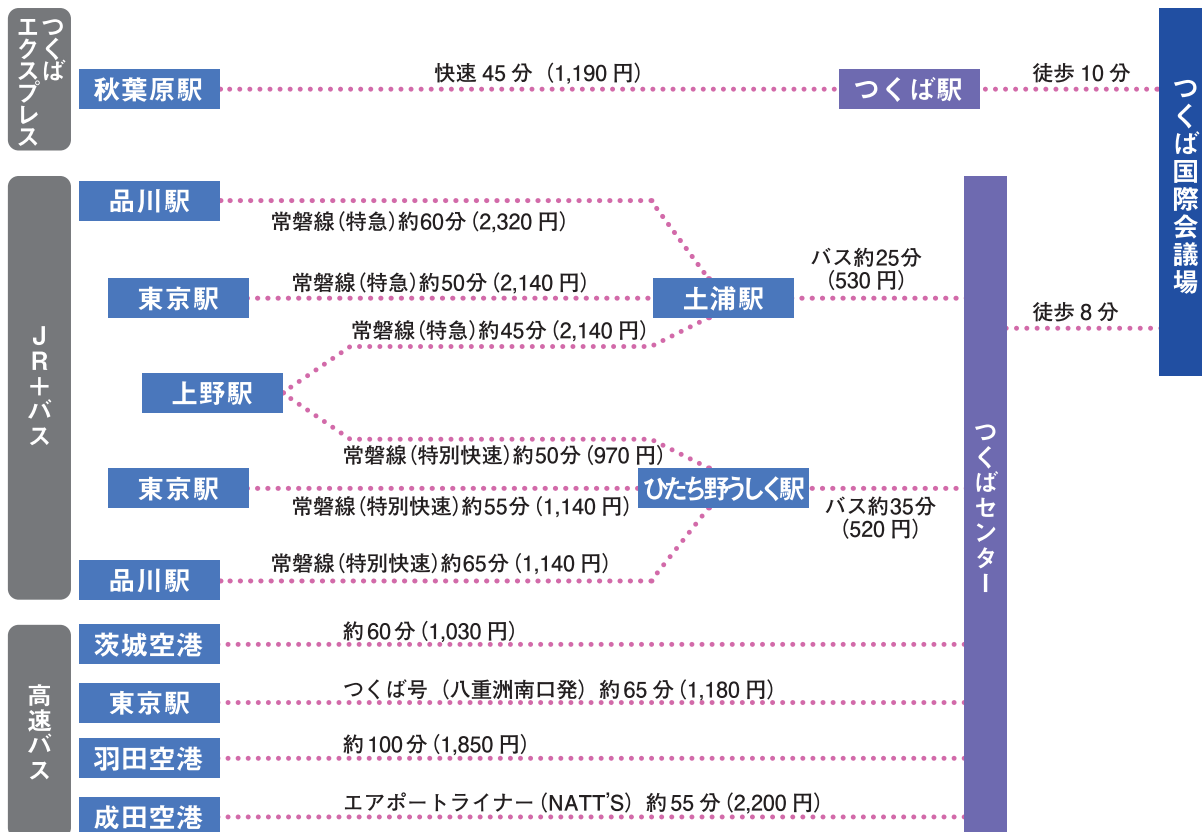
-  …トイレ
-  …AED
-  …階段
-  …エスカレーター
-  …エレベーター
-  …レストラン
-  …飲料等自販機
-  …喫煙所
-  …コインロッカー



つくば駅では A3 出口から地上に出て、右手に進みます。花壇のある大きな階段を上がり、歩行者専用道路を直進します (.....印)。

所在地
茨城県つくば市竹園 2-20-3

●各方面から会場まで



◎所要時間は、おおよその目安として記載してあります。
 ◎詳細は、つくば国際会議場の公式ウェブサイトのご案内をご参照ください。
<https://epochal.or.jp/access/index.html>

●タクシー会社

関鉄土浦タクシー 0120-630-590 新興タクシー 0120-413-233 松見タクシー 029-851-1432